



理想の翼

千厩高校[質実剛健・文武両道]校報



生産技術科の生徒
達がつくった門松

校章のデザインは、桑葉に生糸を配したものである。桑樹は、生命力が旺盛にして強靱、生糸は、純粋無垢、優美高尚の象徴である。即ち、本校の礎が堅固であり、絶えず進展、躍動する青春を意味する。

2015年12月22日 No.09(12月号) 岩手県立千厩高等学校 校報(発行者 校長)

千厩高校「キャリア教育文部科学大臣表彰」受賞

2015 (H27) /12/17

目的 (文部科学省HP) : この表彰は、キャリア教育の充実発展に尽力し、顕著な功績が認められる教育委員会、学校及びPTA団体等について、その功績をたたえ、文部科学大臣が表彰することにより、キャリア教育の充実を促進すること。



【推薦理由の概要】

受賞校等 (文部科学省HP) : 受賞校の決定に当たっては、各都道府県・指定都市教育委員会からの推薦を受け、文部科学省が決定しました。第9回となる今回の受賞校等は、小学校17校、中学校26校、高等学校35校を含め、合計97件です。

本校は 明治34年の創立以来、時代の変化に応じた幾多の変遷を経て、今年で**114年目**を迎える岩手県で唯一の普通科・専門学科併置校であり、「**普通科**」、農業系の「**生産技術科**」、工業系の「**産業技術科**」の3学科から構成されている。本校では、生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度の育成をめざし「**キャリア教育**」を推進しており、全校同一の取り組みや各学科独自の取り組みなどにより、岩手県のキャリア教育のねらいである「**人生設計力**」と「**総合生活力**」の育成に努めている。

本校の進路状況は、進学と就職の割合が約6対4である。就職では、ものづくりや農業の担い手など地方創生の希望を胸に、卒業生の約25%が**管内に就職**している。また、進学においては例年20名前後の**国公立大学進学者**があり、平成26年度の進学でも、工業系の産業技術科から岩手県立大学に合格した2名を含む計20名が国公立大学に合格した。この実績は、学科の枠を超えた進学及び就職指導の定着によるものであり、専門学科で進学を希望する生徒には、普通科生徒と同等の進学指導を受ける環境が整っており、同校の利点となっている。また、就職先については、これまでの実績に基づいた地元企業をはじめとする多様な進路先が整備されており、専門学科教員による指導とも相まって、普通科就職希望生徒の選択肢は広い。同校では、それぞれの学科の教員がもつノウハウが長年にわたって蓄積・共有されることで、生徒の進路選択の幅を広げることが可能となり、志望先に適した指導が容易に受けられる環境にある。このことが伝統的に**進学にも就職にも強い高校**としての評価につながった。

さて、本校が全ての学科の生徒に共通する取り組みとして平成17年度から実施しているのが、**NIE (新聞記事を活用した教育実践)**である。この取り組みでは、①新聞に親しむ、②社会を知る、③自分を知る、④発信する、という4つのテーマを軸に、社会で必要となる「読む・聞く・書く・話す・発表する」といった基礎力を身につけさせることがねらいである。また、この活動は、「知識・技能」に加えて、それらを活用するために必要な「思考力」・「判断力」・「表現力」や、「主体的に学習する態度」といった要素から構成される「**確かな学力**」の向上にも役立っている。さらに、専門学科の「**課題研究**」や「**資格取得**」等においてもNIEでの経験は有効に機能しており、「**キャリア教育**」との接続がスムーズに行われている。

本校の特徴は、「**キャリア教育**」の機能を持つ**NIE**の実践をベースに、「**日常的教育活動を「キャリア教育」の視点で捉え直し、社会的・職業的自立に必要な能力を育成する「キャリア教育」**」をPDCAに基づき継続的に推進してきた点にある。そしてまた、**3学科が1つの学校として融合し、地域とともに歩んできた同校は、地域と触れ合い地域を活性化しながら、普通科生徒の職業理解を促進させるとともに、専門学科に通う生徒の進路選択の幅を広げ、有為な人材の育成を実現させるなど、3学科併置の特徴を有効に活用しながら、キャリア教育を実践してきた。また、本校の各種取り組みや教育実践などについては、学校HP、校報(「理想の翼」)等を有効に活用した情報発信を行い、広くご助言をいただくことで改善に努めている。**

■H27年12月10日現在の**就職**概況

祝 就職内定率年内100%達成

・民間就職(管内)	46名
・民間就職(県内)	5名
・民間就職(県外)	25名
・公務員	3名
合計	79名

☆管内	58%
☆管内+県内	64%

(就職生徒79名に対する割合)



■H27年12月10日現在の**進学**概況

※センター試験受験者数 **49名**

・国公立大学合格	7名
・国公立短期大学合格	0名
・私立大学合格	3名
・私立短期大学合格	6名
・医療系専門学校合格	8名
・その他専門・各種学校合格	12名
合格者数合計	36名

※卒業予定者数 173名

本校の「**キャリア教育**」に係る特徴的かつ具体的な取り組みは以下のとおりである。

1 新聞記事を活用した教育実践 (NIE) の取り組み
全学年全学科で、毎朝各教室でその日の朝刊が閲覧可能であり、新聞を活用した授業も実施している。平成17年度に試行、平成18年度より本格実施、今年(平成27年)で10年目となる。

2 職業インタビュー体験
普通科の1学年全員を対象に数人ずつのグループを編成、生徒が調査対象を選定し電話によるアポイントをとり、後日訪問インタビューを実施。実施後は各グループが報告書を提出し、壁新聞形式に編集した後文化祭で展示発表を行っている。

3 農家体験実習
(1) 農家体験：生産科学コース2年を対象で、
(2) 現場実習：生産科学コース2年を対象で、
(3) 東京大田市場・花き市場見学：東京での



総計20時間の見学と体験を実施
優良農家での2日間の収穫・出荷実習を実施
市場見学を2日間実施

4 インターンシップ (就業体験)
産業技術科2学年全員を対象で、管内事業
5 専門学科の特色を活かした活動

所において連続3日間実施している。

【生産技術科】
(1) 町内の子羊幼稚園との交流学習：さつまいもの苗植えと収穫を、校内農場で年2回実施している。
(2) 知的障がい者更生施設「ふじの実学園」での交流体験学習：ドライフラワー作りを活用した施設利用者との交流で、年3回実施している。
(3) スウィーツ開発プロジェクト：地元千厩町商店街との協働によるスウィーツの試作活動で、千厩町のイベント時に試食配付やアンケート調査を行うなど、スウィーツ開発をベースに**地域活性化を図る**ことを目的としたすばらしい取り組みの一つである。

【産業技術科】
(1) アイデアロボット大会への参加：課題研究におけるロボット製作の取り組みである。大会ごとに提示されるテーマに従いロボットを製作することで問題解決力を養い、メンバーが協力しながら製作し競技に臨む。平成26年度県大会3位の成績で全国大会に出場した。尚、本校は過去に**全国大会優勝2回の実績**がある。
(2) 資格取得の奨励：生徒に目的意識を持たせ、学習意欲の向上を図るため、本校は職業資格取得を奨励している。平成26年度は、全国工業高等学校長協会主催のジュニアマイスター顕彰制度で、**特別表彰者を5名輩出し、県内最多となるすばらしい実績**を残した。

